

空間生かした個性的作品ならぶ

31日から桜ヶ丘ミュージアムで企画展

豊川出身の作家 村田千秋さん東三河で初の個展

豊川市桜ヶ丘ミュージアムの企画展「村田千秋―記述の仕組み―」が、31日から同館で開かれる。同市出身の現代アーティスト作家、村田千秋さん(71)＝豊橋市＝の、空間を生かした個性的な展示が紹介される。個展としては東三河で初めて。

8月22日まで。

(森美香)

机、椅子など身近なものを使った立体作品をはじめ、壁面を利用したレリーフ状の作品、多くの描画作品など、過去に発表された作品と新

作を合わせた約20点が展示される。

初日の午前10時50分から、村田さんと美術評論家の三頭谷鷹史さんによる対談がある。また8月1

日午後1時30分から、小学生～高校生を対象にした村田さ

んのワークショップが開かれる。

さらに、8日の午

後2時には、村田さんによるギャラリートークもある。

入場料や参加は全て無料。ワークショップのみ電話か窓口の事前申し込みが必要。17日の午前9時～先着15人。

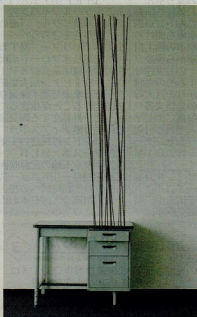
村田さんは、京都市立芸術大学で彫刻

を学んだのち、東三河の高校で美術を教えながら、関西や海外などで作品を発表。郷土での展示が少ないため、同館では地元の人たちにも村田さんの作品を知ってもらおうと企画

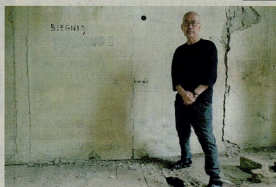
した。

開館は、午前9時～午後5時。月曜休館(8月9日除く)。問い合わせなどは桜ヶ丘ミュージアム＝電話0533(85)3775＝へ。

(森美香)



作品「合図Ⅲ」(桜ヶ丘ミュージアム提供)



村田千秋さん(同)